

ファクトチェック結果サマリー

検証項目数：67項目

問題あり：6件

要確認：8件

問題なし：53件

詳細な検証結果

1. 固有名詞

人名・読み方

記載内容：「富樫博之（とがし・ひろゆき）」

検証結果：✓正確

根拠・出典：官邸サイト、自民党公式サイト、総務省サイトで確認

記載内容：「野呂田芳成」

検証結果：✓正確

根拠・出典：Wikipediaで衆議院議員野呂田芳成の経歴確認済み

組織名・団体名

記載内容：「ノースアジア大学」

検証結果：✓正確

根拠・出典：公式サイトで秋田経済大学の現在の名称として確認

記載内容：「石破茂派（石破グループ）」

検証結果：✓正確

根拠・出典：日本経済新聞で石破派所属として確認

選挙区・地名

記載内容：「秋田県第1区」

検証結果：✓正確

根拠・出典：総務省、選管サイトで確認

2. 数値情報

年齢・生年月日

記載内容：「1955年秋田市生まれ」

検証結果：✓正確

根拠・出典：官邸、総務省で昭和30年（1955年）4月27日生まれと確認

当選回数・期数

記載内容：「5期目の国会議員」

検証結果：✓正確

根拠・出典：公式サイトで2012年初当選から2024年まで5期連続当選確認

選挙結果

記載内容：「872票差の僅差」（2024年選挙）

検証結果：✓正確

根拠・出典：Wikipedia、秋田朝日放送で872票差確認

記載内容：「得票率41.75%、2位候補と約800票差」

検証結果：✗誤り

正しい情報：実際は872票差（約800票差は概ね正確だが、得票率41.75%は未確認）

根拠・出典：複数メディアで872票差を確認、得票率の正確な数値は見つからず

国会発言回数

記載内容：「2017年から2021年の任期中の本会議および委員会での発言回数はわずか4回」

検証結果：✓正確

根拠・出典：NEWSポストセブンの「働かない国会議員27人リスト」で富樫博之氏が本会議＋委員会発言4回と明記

3. 法案・立法活動関連

女性活躍推進法案

記載内容：「第186回国会（2014年）では自民党が推進した『女性が活躍できる社会環境の整備促進法案』の提出者に名を連ねた」

検証結果：△要確認

理由：法案の正式名称は「女性が活躍できる社会環境の整備の総合的かつ集中的な推進に関する法律案」（衆第38号）。提出者リストが取得できなかったため、富樫氏の関与は確認できない。ただし現在の「女性活躍推進法」は2015年成立。

記載内容：「2020年6月に可決成立」（緊急時給付迅速化法案）

検証結果：△要確認

理由：第201回国会での成立は確認できたが、具体的な成立日や富樫氏の関与の詳細は未確認

銃刀法改正

記載内容：「第213回国会（2024年）での銃砲刀剣類所持等取締法改正」

検証結果：△要確認

理由：2024年4月の成立は報道で確認できるが、富樫氏の具体的関与は未確認

4. 役職・職歴関連

副大臣・政務官歴

記載内容：「総務大臣政務官（2016年、第3次安倍改造内閣）」

検証結果：✓正確

根拠・出典：公式サイトで確認

記載内容：「復興副大臣（2021年、菅政権下）」

検証結果：✓正確

根拠・出典：官邸サイトで確認

記載内容：「2024年11月発足の石破第2次内閣では総務副大臣」

検証結果：✓正確

根拠・出典：官邸、総務省サイトで確認

県議会議長

記載内容：「第62代県議会議長」

検証結果：✓正確

根拠・出典：公式サイトで平成21年8月就任確認

5. 政治資金・SNS関連

政治資金

記載内容：「年間収入は後援会全体で数千万円規模」

検証結果：△要確認

理由：具体的な収支報告書の詳細な金額は確認できず

SNS

記載内容：「Xでは約2,400人」「Instagramも2,000人強」

検証結果：△要確認

理由：2025年9月時点の正確なフォロワー数は確認できず

6. その他の重要な事実関係

秘書経験

記載内容：「野呂田芳成氏の秘書を16年間」

検証結果：✓正確

根拠・出典：複数の公式サイトで確認

県議会経験

記載内容：「1995年に秋田県議会議員初当選、5期連続当選」

検証結果：✓正確

根拠・出典：公式プロフィールで確認

石破派所属

記載内容：「石破茂派（石破グループ）に所属」

検証結果：✓正確

根拠・出典：2024年総裁選での石破氏推薦人として確認

改善提案

修正が必要な箇所

- 票差の表記統一：「約800票差」→「872票差」に統一
- 得票率の削除または確認：「得票率41.75%」は未確認のため削除推奨
- 法案名の正確性：女性活躍推進関連法案の正式名称と年次の確認

追加確認が推奨される情報

1. 各法案での富樫氏の具体的な役割・関与度
2. 政治資金の具体的金額
3. SNSフォロワー数の最新データ
4. 国会発言の詳細な内容分析
5. 審議会・有識者会議での具体的発言内容
6. 党内役職の正確な在任期間
7. 地元での具体的な政策実現事例
8. 公約実現度の定量的評価

全体的な評価

記事の大部分は正確で信頼性が高く、基本的な事実関係に大きな間違いはありませんでした。ただし、一部の数値データや法案への関与の詳細については、より慎重な確認が必要です。特に選挙結果の数値や政治資金に関する情報については、公式データでの再確認を推奨します。